

「ウシ繁殖超音波画像診断セミナー九州沖縄ブロック研修会」 を開催しました

平成29年12月8日
(独)家畜改良センター
宮崎牧場

12月5～6日に独立行政法人家畜改良センター宮崎牧場において、熊本牧場との共催で標記の研修会を開催しました。開業獣医師、農済獣医師、県獣医師等15名が参加されました。また、今回は徳島県、高知県、愛知県、兵庫県からも参加されました。講師には宮崎大学農学部獣医学科産業動物臨床繁殖学研究室 教授 大澤 健司 先生をお招きし、5日午後に講義、6日午前に実技講習を行いました。

1日目の講義では、直腸検査及び超音波検査の基本手技、早期妊娠診断及び性判別について写真や動画を用いて分かりやすく説明していただきました。

講義後に受講者から日常業務での課題も含めた様々な質問があり、大澤先生からアドバイスがありました。

2日目の実技講習では、胎齢29日から89日までの妊娠牛14頭、空胎牛（発情牛）2頭を準備し、超音波画像診断装置を用いて判定を行いました。機種は後援者として参加した株式会社メディカル・タスクフォースからMy Lab OneVETを本田電子株式会社からHS-1600V、HS-102Vを提供していただきました。また、当センター所有の本多電子製HS-101V、フロンティアインターナショナル製のアグロスキャンを使用しました。オブザーバーとして富士平工業株式会社の方にも参加していただきました。先ず大澤先生に妊娠鑑定の基本手技及び胎齢の異なる牛について、プロジェクターを用いてデモを行っていただきました。次に受講者が実際に判定を行いました。今回の受講者は妊娠鑑定の経験が豊富な方からあまり経験のない方など様々でしたが、大澤先生や当场職員の指導の下に機器の操作を確認し、実習を行いました。

研修終了後に回収した受講者アンケートからは、「妊娠鑑定の基本手技から性判別まで、短い時間の中での的確に教えていただけで良かった」「実習牛の頭数が充実していた」「農家の方に還元できるように頑張りたい」等の声があり、受講生に満足していただけたようでした。また、本研修会が情報交換の場としても有効に活用されたようでした。

今回の研修の受講者が、超音波画像診断装置による性判別技術等を活用され、生産性の向上に貢献されることを期待しています。



講師の大澤先生



講義の様子



実技の様子－1



実技の様子－2



実技の様子－3